

目 次

1	転籍・転部・転科とは	1
2	募集学部・学科、募集人員	1
3	受験資格	2
4	転籍・転部・転科試験受験についての注意事項	2
5	転籍・転部・転科後の単位認定	3
6	各学部の転籍・転部・転科要件	3
7	出願手続から学費納入まで	7
8	出願方法	8
9	転籍・転部・転科志願票記入例	9
10	受験票	11
11	受験料	11
12	試験実施	11
13	合格発表	13
14	学費納入	14
15	問い合わせ先一覧	15
	志望学部学科コード一覧	16
	校舎案内図	17
	2011年度2年次転籍・転部・転科・編入・継続学士入学試験 志願・受験・合格者数	21
	2011年度3年次転籍・転部・転科・編入・継続学士入学試験 志願・受験・合格者数	22

※ 外国人留学生の方は、「12 試験実施」「■ 試験科目」の表中の《注意1》を必ず参照してください。

2012 年度転籍・転部・転科試験要項

1 転籍・転部・転科とは

■ 転籍とは

- ① 本学第二部の学生が、学部の間を問わず、第二部から第一部へ移ること。
- ② 本学通信教育課程の学生が、学部の間を問わず、第一部へ移ること。

■ 転部とは

- ① 本学第一部の学生が、同じ第一部の他の学部へ移ること。

■ 転科とは

- ① 本学第一部の学生が、現在在籍している第一部の同学部内の他の学科へ移ること。

《注意》2007 年度より第二部への転籍・転部・転科試験は、全学部実施していません。

2 募集学部・学科、募集人員

■ 募集学部・学科（2年次・3年次共通）

学部	学 科
法学部	法律学科 政治学科 国際政治学科（2年次のみ募集）
文学部	哲学科 日本文学科 英文学科 史学科 地理学科 心理学科 (除く文芸コース) ※ P. 3 参照
経営学部	経営学科 経営戦略学科 市場経営学科
人間環境学部	人間環境学科（3年次のみ募集）
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科
経済学部	経済学科 国際経済学科 現代ビジネス学科
社会学部	社会政策科学科 社会学科 メディア社会学科
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科（2年次のみ募集） 臨床心理学科（2年次のみ募集）
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科（除くヘルスデザインコース）※ P.6 参照

■ 募集人員

2年次・3年次各学部・学科共通	若干名
-----------------	-----

3 受験資格

■ 転籍試験受験資格

2年次	<p>①第二部から第一部への転籍を志願する場合（前項「転籍」①の学生） 教職・資格科目を除き、30単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。 ただし、人間環境学部の2年次は募集しません。</p> <p>②通信教育課程から第一部への転籍を志願する場合（前項「転籍」②の学生） 通信教育課程の1年次生（後期入学者を除く）および2年次生以上で、教職・資格科目を除き、30単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。ただし、人間環境学部の2年次は募集しません。</p>
3年次	<p>①第二部から第一部への転籍を志願する場合（前項「転籍」①の学生） 教職・資格科目を除き、60単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。 ただし、法学部国際政治学科、現代福祉学部の3年次は募集しません。</p> <p>②通信教育課程から第一部への転籍を志願する場合（前項「転籍」②の学生） 通信教育課程の2年次生（1年次後期入学者および2年次後期編入入学者を除く）および3年次生以上で、教職・資格科目を除き、60単位以上を修得している者（修得見込みの者を含む）。ただし、法学部国際政治学科、現代福祉学部の3年次は募集しません。</p> <p>③文学部心理学科志願者においては、①②のほか、所定の科目を4単位以上修得済みの者（修得見込みの者を含む）。</p>

■ 転部・転科試験受験資格

2年次	現在1年次に在籍している学生が、第一部から第一部への転部・転科を志願する場合は、 <u>現在所属している学部（学科）を進級する見込みであること</u> 。進級規程等、詳細については、現在所属している学部の窓口まで問い合わせてください。また、現在2年次以上に在籍している学生が、留級して転部・転科を志願する場合の詳細については、現在所属している学部の窓口まで問い合わせてください。なお、人間環境学部2年次の転部・転科は募集しません。
3年次	現在2年次に在籍している学生が、第一部から第一部への転部・転科を志願する場合、 <u>現在所属している学部（学科）を進級する見込みであること</u> 。進級規程等、詳細については、現在所属している学部の窓口まで問い合わせてください。また、現在3年次以上に在籍している学生が、留級して転部・転科を志願する場合の詳細については、現在所属している学部の窓口まで問い合わせてください。なお、法学部国際政治学科、現代福祉学部は、3年次の転部・転科は募集しません。文学部心理学科志願者においては、上記のほか、所定の科目を4単位以上修得済みの者（修得見込みの者を含む）。

4 転籍・転部・転科試験受験についての注意事項

- 転籍試験受験に際して、受験資格となる単位について修得見込みで受験した学生が、所定の単位を修得できなかった場合には、たとえ試験に合格しても転籍の許可を取り消します。
また、転部・転科試験受験に際して、進級見込みで受験した学生が、現在所属している学部・学科・学年で進級できなかった場合には、たとえ試験に合格しても、転部・転科の許可を取り消します。
なお、この場合の受験料はいっさい返金いたしません。受験に際しては各人の受験資格について十分注意のうえ出願してください。
- 指定校制推薦入学試験およびSA自己推薦入学試験によって入学した国際文化学部の学生は、他の学部への2年次での転部は認めません。
- 第一部2年次転科志願者については、2年次転籍・転部志願者と同様に学科試験を行います。
- 3年次転科志願者については、学部によって扱いが異なりますので、事前に各人が所属する学部窓口まで問い合わせてください。
- 法学部国際政治学科、現代福祉学部3年次転籍・転部・転科は募集しません。

5 転籍・転部・転科後の単位認定

転籍・転部・転科した者の前籍で修得した専門教育科目の単位認定は、それぞれの転籍・転部・転科先の学部・学科によって異なりますので、詳細は各人の志願学部窓口まで問い合わせてください。

6 各学部の転籍・転部・転科要件

■ 第二部への転籍等について

2007年度より第二部への転籍・転部・転科試験は、全学部実施していません。

■ 法学部国際政治学科を志望する皆さんへ

国際政治学科へ入学した場合、海外研修（約2週間）が必須となりますが、この研修費用（約55万円）は、学費とは別にかかります。

■ 文学部日本文学科を志望する皆さんへ

文学部日本文学科では、1994年度入学の1年次生からコース制を導入しました。コースは、〈文学コース〉、〈言語コース〉、〈文芸コース〉の3コースからなり、2年次生からそれぞれのコースに分かれて必要な科目を履修することになります。

ただし、転籍・転部・転科・編入・継続学士で入学される方については、〈文学コース〉、〈言語コース〉の2コースのいずれかを選んでいただくこととなります。〈文芸コース〉は募集していませんのでご注意ください。

具体的には、入学後各コースのゼミを選択することになります。また、2年から3年への進級時にコースの変更も可能ですが、その場合には担当教員と相談してください。

各コースとも少人数のゼミナールを中心としたカリキュラムが組まれており、その概要は以下のようになっています。

文学コース
古代から中世、近世、近・現代までの日本文学の全般にわたり、作品・作家研究を中心に、その歴史や時代背景を含めたより深い享受と文学性の追究を目的としています。

言語コース
日本の最近の国際化、海外進出を念頭において、広い視野で言語の学問にアプローチしようというコースであり、世界の諸言語との関連の中で言葉・文法を追究していきます。したがって、関連する国語学や言語学、最近の生成変形文法などにも力を注いで、専門の語学力の養成にも努めていきます。

なお、転籍・転部・転科・編入・継続学士入学を希望する皆さんには、出願時に志願票に希望コースを記入していただけます。ただし、希望どおりのコースとならない場合があります。

■ 文学部心理学科を志望する皆さんへ

文学部心理学科の3年次へ志願される方は、P.2「**3** 受験資格」に記載の通り、法政大学文学部心理学科カリキュラムにおける「学科基礎科目」のうちの以下の科目群に読み替え可能な科目12単位のうち、4単位以上修得済み（修得見込みも含む）であることが条件となります。条件を満たせない場合には2年次へ志願してください。

- ・心理教育統計学Ⅰ（2単位）、心理教育統計学Ⅱ（2単位）…心理学（および教育学・社会学）の研究を行うために必要な統計学・統計法の科目であること。数学・経済学等、心理学に隣接しない領域の統計学では不可。
- ・心理学基礎実験（4単位）…心理学実験の手法を体験的に学ぶことを中心とした内容であること。
- ・心理学測定法Ⅰ（2単位）、心理学測定法Ⅱ（2単位）…質問紙法の作成・実施を中心とした心理測定に関する内容であること。

出願の際は、これらの科目のシラバスの写しと単位数のわかる書類も同封してください。なお、合格判定後、これらの科目を修得していないことが判明した場合には、合格を取り消します。

※類似する科目等判断が困難な場合には、受験資格の有無について必ず2011年10月14日(金)までに「シラバスの写し」と「単位数のわかる書類」を添えて、文学部担当まで確認してください(大学からの問い合わせのため、必ず住所・電話番号・メールアドレスを付記してください)。なお、期日までに申請がない場合には、受験資格の有無について回答することができない場合がありますのでご注意ください。

■ 経済学部を志望する皆さんへ

経済学科のコース制度について

経済学部経済学科ではコース制を導入しています。

どのコースに所属するかを、入学書類提出時までに選択していただきます。それまでにこの案内をよく読んで、コースを選択しておいてください。コースに人数制限はありませんので、入学後は希望したコースに所属することができます。コース変更は2年次終了時のみ可能です。したがって、3年次転籍・転部・転科・編入・継続学士入学志望者は、入学後のコース変更はできませんので、ご注意ください。なお、国際経済学科、現代ビジネス学科にはコースはありません。

社会システムコース キーワードは「現代化・システム分析」

本コースでは、システム分析を基礎に、歴史的・地理的側面から経済と産業の仕組みを重点的に学習します。そのために必要な理論的・歴史的・制度的分野の基礎概念と、現代世界と日本の関わりにおける最新の政治・経済的選択をめぐる論点について、グローバルな思考力を育成します。

政策情報コース キーワードは「情報化・政策分析」

本コースでは、政策分析や金融分析など、経済学の応用領域を重点的に学びます。情報化が進んだ現代経済には、広い視野に立った高度な分析・予測能力が必要。そのため、ベースとして経済理論、情報処理、数量解析スキルを習得。その上で、財政・金融・社会保障などの具体的な政策テーマについて、客観的データに基づいた分析能力を身につけます。

環境文化コース キーワードは「総合化・学際的分析」

本コースでは、経済学をベースにししながら、その枠を超えて、総合的・学際的に経済社会について学びます。世界的課題である環境、貧富の格差、宗教などの問題は文化構造の違いと深く結びついているため、既存の学問体系ではその解決が困難です。環境と経済、文化と経済という幅広い視点から、「問題発見的」発想と方法の習得に重点を置いています。

経済学部 SA (スタディ・アブロード・プログラム)

経済学部の学生が3年次の前期に、イギリスのシェフィールド大学英語教育センター、アメリカのカリフォルニア大学デイヴィス校国際英語&職業教育センター、オーストラリアのモナッシュ大学英語センターで開講される授業を履修するプログラムです。経済学部のSAは選択制です。3年次転籍・転部・転科・編入および継続学士入学志望者は、対象外となります。

《プログラムの内容》

- SAの授業はいずれも留学先大学の外国人講師による英語の授業です。
- 授業は集中的な英語の学習と、その国の経済、ビジネス、文化、社会等の講義との二本立てで構成されています。
- 留学先で履修した科目(単位)は、経済学部の開設科目(単位)から16単位を上限に読み替えて、経済学部教授会が認定します。
- 事前指導(2年次)、事後指導(3年次後期)としてSA単位が2単位修得できます。

《留学原則》

- 経済学部の特選は選択制です。
- 3年次前期に約4ヵ月間で実施します。(留学先により3月開始の大学もあります)
- 募集人数は学年全体で約60名。

《選抜方法》

- 前籍での成績により選抜を行います。
- 認定された単位数が著しく少ない場合には、特選を認めない場合があります。
- 必要な時は適宜面接を行います。

※プログラムの詳細については経済学部事務課へお問い合わせください。

■ 社会学部を志望する皆さんへ

主専攻・副専攻制と進級要件

社会学部では主専攻・副専攻制(7コース・8プログラム制)を柱とするカリキュラムを実施しています。このカリキュラムは、各専攻に対応した、他大学にない選択必修科目が多数設置されており、各年次の進級要件の中で厳しく規定されています。認定単位数が少ない場合、1年間では次の学年に進級できない場合が生じます。

特に、3年次への編入・転籍・転部・継続学士を希望する方は、4年次への進級要件が極めて厳しくなっていますので注意してください。3年次から4年次へ進級するためには下記の【3年次から4年次への進級要件】をすべて満たし、かつ、【2年次から3年次への進級要件】に定められている「学科入門科目」に関する進級要件をすべて満たすことが必要です。また、社会学系の学部以外からの編入(転籍・転部・継続学士含む)や前籍で英語以外の諸外国語や体育実技の修得単位数がない場合は、1年間では4年生に進級できない可能性があります。出願にあたっては必ず事前に社会学部事務課にご相談ください。

社会学部の【2年次から3年次への進級要件】および【3年次から4年次への進級要件】は下記の通りです。

【2年次から3年次への進級要件】

以下に示す要件を全て満たさなければならない。

- (1) 2年次終了までに、60単位以上を修得しなければならない。
- (2) 学科入門科目より、14単位以上を修得しなければならない。

ただし、①自分が所属する学科の「○○学への招待」、「○○学入門A・B」より4単位以上、②自分が所属する学科の「○○学への招待」、「○○学入門A・B」、「コース入門科目」をあわせて合計10単位以上を修得しなければならない。

【3年次から4年次への進級要件】

以下に示す要件を全て満たさなければならない。

- (1) 3年次終了までに、98単位以上を修得しなければならない。
- (2) 「Basic English 1-I・II」「Basic English 2-I・II」および「必修外国語として登録した諸外国語初級A・B」について、各々4単位、合計8単位を修得しなければならない。
- (3) 「スポーツ総合1-I・II」(合計2単位)を修得しなければならない。
- (4) 社会科学基礎理論から4単位以上を修得しなければならない。

第一部社会学部内で転科した場合の注意事項

第一部社会学部生の2年次または3年次生が転科した場合、「学科入門科目」は転科後の学科指定科目の修得が必要になります。社会学部の進級規程では転科した年度にその学科の進級要件を充足しない場合、進級することはできません。

社会学部SA(スタディ・アブロードプログラム)

社会学部スタディ・アブロード(SA)プログラムは、2年次後期もしくは3年次後期の英語圏・中国語圏への3~4ヶ月のプログラム(アメリカのボストン大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、カナダのトロント大学、中国の北京師範大学)と、3年次のカナダ・アルバータ大学への8ヶ月のプログラムです。このプログラムへの応募の可否については、次のとおりです。

- 2 年次転籍・転部・編入学者の場合
 - ・ 2 年次後期の SA への応募は認めません。
 - ・ 3 年次後期の SA、3 年次の長期 SA への応募は認めます。
- 3 年次転籍・転部・編入および継続学士入学者の場合……SA への応募は認めません。

■ 経営学部を志望する皆さんへ

経営学部 SA（スタディ・アブロード・プログラム）

経営学部スタディ・アブロード・プログラムへの応募はできません。

■ 現代福祉学部を志望する皆さんへ

受験資格

教職・資格科目を除き 30 単位以上を修得している者と記載されていますが、ここでいう資格科目とは、社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験資格に関わる科目ではありません。

※ 転籍・転部・転科試験に関して不明な点は、現代福祉学部事務課へお問い合わせください。

■ スポーツ健康学部を志望する皆さんへ

スポーツ健康学部のコース制度について

スポーツ健康学部ではコース制を導入しています。コースは、〈スポーツビジネスコース〉、〈スポーツコーチングコース〉、〈ヘルスデザインコース〉の 3 コースからなり、2 年次生からそれぞれのコースに分かれて必要な科目を履修することになります。

ただし、転籍・転部・編入・継続学士で入学される方については、〈スポーツビジネスコース〉、〈スポーツコーチングコース〉の 2 コースのいずれかを選んでいただくことになります。〈ヘルスデザインコース〉は募集していませんのでご注意ください。

入学後は希望したコースに所属することになります。

スポーツビジネスコース

体育学および健康科学など「スポーツ健康学」の基礎となる学問領域を体系的に理解し、両者を結びつけたスポーツ関連事業（非営利組織・民間企業など）において、質の高いサービスを創造、提供できる人材を育成することが本コースの目的です。このコースでは、スポーツ振興のための政策、事業としてのスポーツ運営・経営の方法を教育研究の対象としており、スポーツが地域社会の活性化や住民の生活の質的向上と同時に産業としても成熟させることへいかに貢献しうるかを教育の柱としています。

スポーツコーチングコース

競技力向上のための科学的なトレーニング方法や生徒児童が運動不足に陥らないための方策、健康社会の実現に向け運動習慣を身につけるための指導法を教育研究の対象としており、スポーツを継続的に実践していくための指導方法を学ぶことを教育の柱としています。学識と実践力と人間性に長けたスポーツ指導者を育成するという視点から、「スポーツ健康学」へアプローチを試みることをコースの目的としています。

進級要件

スポーツ健康学部では、必修科目・選択必修科目が多数設置されており、各年次の進級要件の中で厳しく規定されています。また学年ごとに体系的にカリキュラムが組まれていることから、認定単位数が少ない場合、1 年間では次の学年に進級できない場合が生じますので、転籍・転部する学年については、熟慮ください。

■ キャリアデザイン学部を志望する皆さんへ

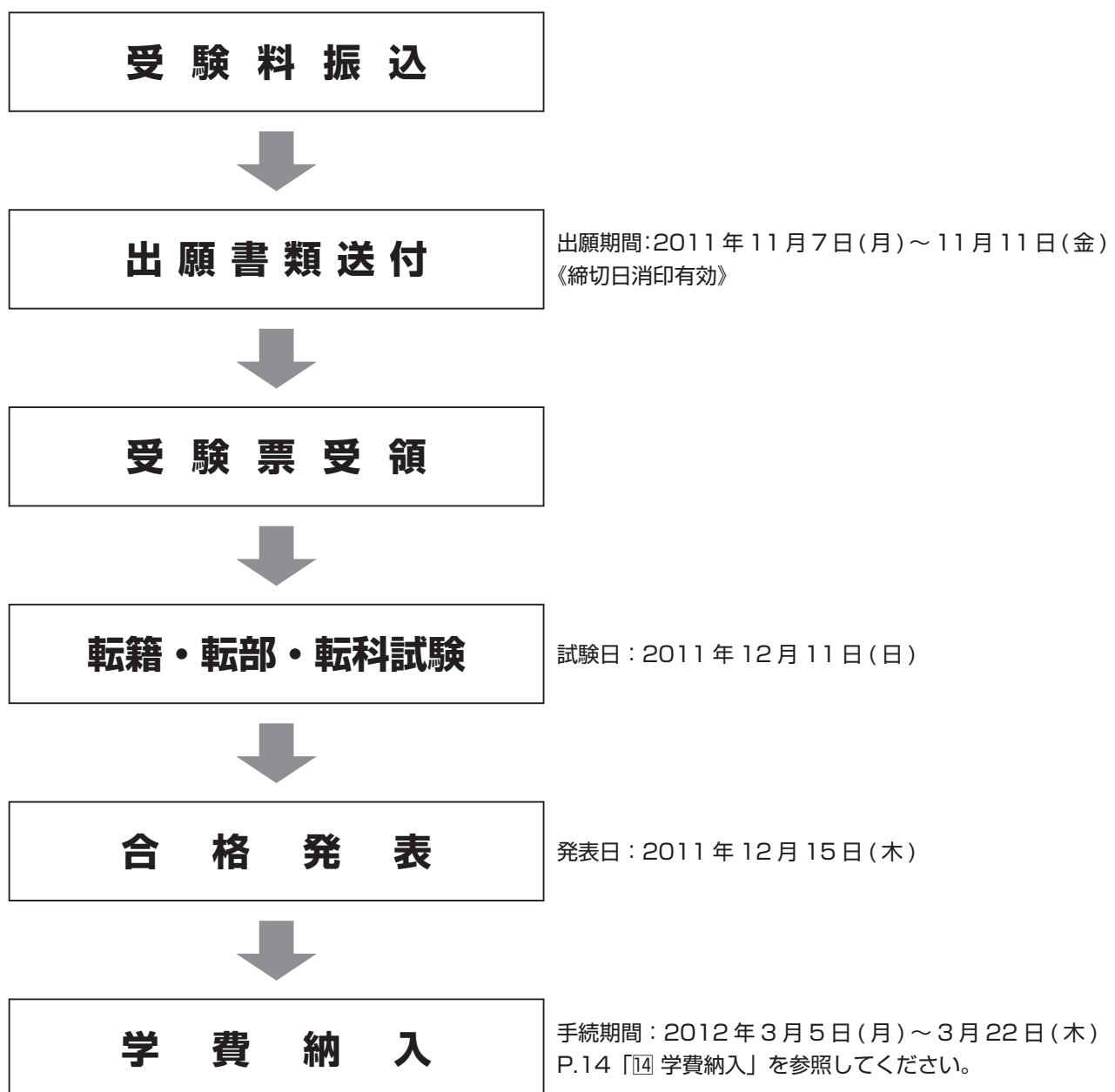
昼夜開講について

キャリアデザイン学部では、昼夜開講で授業を実施していますが、夜間時間帯（6，7時限）には授業数が少ないため、また2013年度に7時限授業を廃止する予定であるため、夜間時間帯（6，7時限）と土曜日のみで、通常の年数で進級、卒業することは難しい状況となりますのでご注意ください。

単位認定について

単位認定は、前籍の修得科目名および内容をもとに行いますが、キャリアデザイン学部では独自性のある科目が多いため、単位認定がされにくい傾向があります。3年次転籍・転部の場合、入学後単位認定を受け、その後上限単位の履修登録をしたとしても、進級要件を満たすことができない場合がありますのでご注意ください。

7 出願手続から学費納入まで



※ これ以降の日程については、合格者へ別途通知します。

8 出願方法

■ 出願期間

2011年11月7日(月)～11月11日(金)《締切日消印有効》

■ 出願方法

出願は郵送のみで受け付けます。以下のとおり指定の封筒を使用し、簡易書留速達で出願期間内に送付してください。

- ・ 緑色封筒…経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部志願者
- ・ 白色封筒…上記以外の学部志願者

《注意》身体に障がいがあり、受験上および就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に、必ず志願する学部の事務担当までご相談ください。(P.15「[15] 問い合わせ先一覧」参照)

■ 出願書類

- ・ 銀行の収納印のあるC票(受験票)およびD票(志願票)
(縦4cm×横3cm、上半身脱帽、3ヶ月以内に撮影した写真を貼付すること)
- ・ 宛名シール(経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の志願者のみ)

《注意1》C・D票は、切り離さないで送付してください。

《注意2》出願後の志願学部・学科・学年の変更および受験科目の変更は認めません。

《注意3》文学部日本文学科への転籍・転部・転科希望者はC・D票の学科欄に日本文学科と記入し、併せて、指定された箇所に希望コース(文学コースまたは言語コース)も記入してください。ただし、希望どおりのコースとならない場合があります。

《注意4》出願書類は不備なく提出してください。不備の場合には、受験できないこともあります。(P.9～P.10の記入例をご参照ください)

《注意5》文学部心理学科の3年次へ志願する方は、心理学科所定の科目のシラバスの写しと、当該科目の単位数の記載された書類を必ず同封してください。類似する科目名等、判断が困難な場合は、必ず**2011年10月14日(金)**までに文学部担当まで受験資格の有無について確認して下さい(P.4参照)。

《注意6》スポーツ健康学部への転籍・転部希望者は、C・D票の学科欄にスポーツ健康学科と記入し、余白に希望コース(スポーツビジネスコースまたはスポーツコーチングコース)も記入してください。

■ 願書の提出における個人情報(氏名・生年月日・住所・電話番号他)取得に対して

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、「入学試験実施(志願者データ作成を含む)」「合格発表」「入学手続」とこれらに関連する業務を行うためのみに利用します。

9 転籍・転部・転科志願票記入例

- 黒または青のボールペン（インク）で、本人直筆で記入してください。書き損じた場合は、修正液を使用して構いません。
- 転籍・転部・転科受験料は、この転籍・転部・転科志願票を使用して、銀行の窓口で振り込んでください。その際、A票は銀行控となりますが、B票（受験生の控）およびC・D票（大学提出用）が戻されますので、必ず収納印が②③④に押されていることを確認してください。（銀行に備え付けの振込用紙では振り込まないでください）
- 収納印が押されていない、あるいは締切日の翌日以降の日付で収納印が押された志願票は無効です。金融機関窓口の営業時間を確認のうえ、余裕をもって手続きしてください。
- 出願後、学部学科等の変更はできませんので、注意して出願してください。

最寄りの金融機関で受験料を振込み、①～④に収納印を受けてください。（A票は銀行控）

なお、三菱東京UFJ銀行の本・支店から振り込んだ場合は手数料はかかりません。

B票は後日入金等の確認をする場合に必要となりますので、各自保管しておいてください。

確実に受け取ることでできる受信先の住所・氏名を記入してください。

該当する欄に○印をつけ、志望する学部・学科・学年等を正確に記入してください。

- ・文学部日本文学科を志望する場合は、「学科」欄に希望コース（文学または言語）も記入してください。
- ・スポーツ健康学部を志望する場合は、「学科」欄に希望コース（スポーツビジネス [ビジネスと記入] またはスポーツコーチング [コーチングと記入]）も記入してください。

(2012年度 受験料)

A 電信振込依頼書

(取扱店保存) 勘定科目

依頼日	2011年11月10日	振込指定	電信振込	手数料	
先方銀行	三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店	金額	¥34,000	内	現金
預金種目	普通預金	口座番号	4745326	内	当手 枚
受取人	ホウセイテンセキ	内	他手 枚	左記銀行の本支店間は手数料無料です。	
口座名	法政大学転籍・学士	取扱銀行 1 収納印			
カタカナ氏名	ホウセイテンセキ	姓	ホウセイ	名	テンセキ
氏名	ホウセイテンセキ	住所	〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1		
住所	〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1				
電話番号	00-xxxx-xxxx				

銀行取扱期間 2011年11月7日(月)～2011年11月11日(金) (期間後取扱不可)

B 振込金受領書

(本人保存) (2012年度 受験料)

依頼日	2011年11月10日	金額	34,000円	取扱銀行 2 収納印
先方銀行	三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店	上記のとおり振込金として		
受取人	法政大学転籍・学士	受領しました。		
志願者氏名	ホウセイテンセキ 殿			

(ここを切り離しC票以下を大学に送付)

郵便番号: 102-8160

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学 学務部

法政大学 学務部 様

ホウセイテンセキ 殿

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学 学務部

C 2012年度法政大学転籍・転部・転科受験票

(受験番号)

転籍	○	転部	○	転科	○
学部	法	学科	政	学年	1
氏名	法政テンセキ				

注1. 試験場では常に机上においてください。
注2. 受付後の学部・学科の変更は認めません。

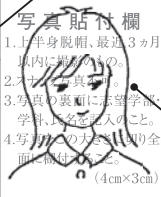
取扱銀行
3
収納印

P.16を参照し、志望する学部・学科のコードを記入してください。

必ず転籍・転部・転科の該当するもの、および志望する学年のどちらかに○印をつけてください。

D 2012年度法政大学
転籍・転部・転科志願票

<input type="checkbox"/> 転籍 <input checked="" type="checkbox"/> 転部 <input type="checkbox"/> 転科		2年	<input checked="" type="checkbox"/> 3年	受験番号
(○で開む)				
志願先	志望学部学科コード		志望学部 志望学科 法 学部 法律 学科 () (専修コース)	
現在籍	学校コード		2 2 4 9	
第一	学部	学科	学年組	学生証番号
第二	法	法律	2	06A1204
籍	通信教育部			
カタカナ	姓		名	
	ホウゴウ		ゴシロウ	
氏名	法政		ふじろ	
生年月日	西暦	1991	年	4月 11日
現住所	郵便番号	〒102-8160	都道府県	東京都
(連絡先)	〒102-8160 東京都千代田区千代田			
	電話番号	(携帯) 000-XXXX-XXXX	(自宅) 00-XXXX-XXXX	
	学務点検印 ※			
	受験科目(○印) ※			
外国語	英語	<input type="checkbox"/>		
	独語	<input type="checkbox"/>		
	仏語	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中国語	<input type="checkbox"/>		
	日本語	<input type="checkbox"/>		
	論文	<input type="checkbox"/>		
	面接	※		
		※		
		※		



・文学部日本文学科を志望する場合は、() 内に希望コース(文学または言語)も記入してください。
・スポーツ健康学部を志望する場合は、() 内に希望コース(スポーツビジネス [ビジネスと記入] またはスポーツコーチング [コーチングと記入])も記入してください。

写真は白黒、カラーどちらでも可。万が一はがれても分かるよう、裏面に志望学部・学科・学年・氏名を記入し、しっかり糊付してください。

受験科目は、各学部・学年の注意事項をよく読み、該当する欄に○印をつけてください。

※印欄は記入しないでください。

この④にも収納印を受けてください。



現学籍には、現在在籍している学部・学科・学年・学生証番号を正確に記入してください。

- (1) 志願票は絶対折り曲げないでください。
- (2) 受付後の学部・学科・受験科目の変更は認めません。
- (3) ※印欄は記入しないでください。
- (4) 電話欄は電話連絡する場合がありますので必ず記入のこと。
- (5) 受験科目に必ず○印を付すこと。

10 受験票

受験票には、確実に受け取ることのできる住所・氏名を必ず記入してください。大学から試験日の1週間前までに届くよう返送します。なお、切手を貼付する必要はありません。

11 受験料

受験料 34,000円

受験料は、振込依頼書のついているA票からD票に、所定事項をすべて（※は除く）記入のうえ、必ず銀行の窓口で振り込んでください（ATM、携帯電話・パソコン等、および「ゆうちょ銀行」（郵便局）からの振込はできません）。A票からD票まで、銀行の収納印を受け、そのうちのA票を除いたB・C・D票を受け取ってください。

なお、いったん納入された受験料は、受験資格がないことが判明した場合以外には、理由のいかんにかかわらず、一切返金いたしません。

12 試験実施

■ 2011年12月11日（日）

■ 午前9時15分までに試験教室へ入室してください。

■ 試験時間割

時間	学部 文系学部2・3年次 (現代福祉学部・スポーツ健康学部を除く)	現代福祉学部・スポーツ健康学部
9:30～10:30(60分)	論文	英語
11:00～12:00(60分)	外国語	論文
当日指示	面接(法学部を除く)	面接

※受験票は試験当日、常に携帯し、合格発表まで保管してください。

■ 試験場

学年	志願学部	試験場
2年次	現代福祉学部	多摩校舎
2・3年次	法学部、文学部、経営学部、キャリアデザイン学部	富士見校舎
	経済学部、社会学部、スポーツ健康学部	多摩校舎
3年次	人間環境学部	富士見校舎

※試験教室は、試験当日に各校舎で発表します。

■ 試験科目

学年	学部	試験科目	面接
2年次	法学部	論文…「人文」もしくは「社会」分野に関する問題 外国語…英語（外国人留学生は《注意1》を参照のこと）	無
	文学部	論文…志望学科の専門（哲学科は概論レベル） 外国語…哲学科＜英・独・仏語＞ 日本文学科＜英・中語＞ 英文学科、史学科、地理学科、心理学科＜英語1科目のみ＞	有※1
	経営学部	論文…「人文」および「社会」分野に関する問題から各々1題を選択し解答 英語	有※7
	キャリアデザイン学部	論文…専門 英語	有※3
	経済学部	論文…社会常識・経済学の基礎 *2 英語	有※4
	社会学部	論文…一般教育科目の「人文」および「社会」分野に関する問題 から各々1題を選択し解答 英語	有※5
	現代福祉学部	英語 論文…福祉コミュニティ学科＜福祉・地域に関する問題＞ 臨床心理学科＜心理に関する問題＞	有※6
3年次	スポーツ健康学部	英語 論文…スポーツ科学、健康科学の基礎的な知識や理解力を試す問題	有※8
	法学部 （法律・政治学科）	論文…法学・政治学に関する基礎的な論述試験 希望学科の問題を選択 *1 外国語…英語（外国人留学生は《注意1》を参照のこと）	無
	文学部	論文…志望学科の専門 外国語…哲学科＜英・独・仏語＞ 日本文学科＜英・中語＞ 英文学科、史学科、地理学科、心理学科＜英語1科目のみ＞	有※1
	経営学部	論文…3分野（経営・会計・経済）から出題され、2分野を選択し解答 英語	有※7
	人間環境学部	論文…専門 英語	有※2
	キャリアデザイン学部	論文…専門 英語	有※3
	経済学部	論文…社会常識・経済学の基礎 *2 英語	有※4
	社会学部	論文…専門 英語	有※5
スポーツ健康学部	英語 論文…スポーツ科学、健康科学の専門的な知識や理解力を試す問題	有※8	

《注意1》法学部の転籍・転部・転科を志願する外国人留学生で以下に該当する場合は、外国語科目として日本語を受験してください（ただし、外国人学生であっても以下に該当しない場合は、前記表中に記載した外国語で受験してください）。

- ① 外国において、外国の高等教育課程（大学・短大）に在学またはこれを卒業し、その後、本学に在学する者
- ② 外国において、外国の中等教育課程（高校）を卒業し、その後、本学に在学する者

《注意2》試験科目について

* 1 「論文」

現代の国内や世界における法、政治、社会問題についての一般的な理解を試すと共に、論理的な文章表現能力を試すもの。

* 2 「社会常識」（2・3年次共通）

現代の国内や世界における、政治、経済、社会問題についての一般的な知識や理解力を試すもの。

「経済学の基礎」（2年次）

一般向けの新聞や雑誌などの経済記事が理解できる程度の十分な常識があるか否かを試すもの。

「経済学の基礎」（3年次）

この問題は、大学1～2年のあいだに修得すべきことを期待されているような、経済学の基礎知識に関するものから選ばれる。数学や図表などを用いる場合は、ごく初歩的なものを出题する。

《注意3》面接について（※印の注番号）

- ※1 文学部2・3年次の転籍・転部・転科志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表は、試験当日14時30分から（時間は変更する場合があります）試験教室で行います。
- ※2 人間環境学部3年次の転籍・転部・転科志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表は、試験当日14時30分から（時間は変更する場合があります）試験教室で行います。
- ※3 キャリアデザイン学部2・3年次の転籍・転部志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表および面接試験については、試験当日に試験教室で指示します。
- ※4 経済学部2・3年次については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表および面接試験については、試験当日に試験教室で指示します。
- ※5 社会学部2・3年次は、他学部からの転籍・転部志願者・通信教育課程の者については、第1次合格者のみ面接試験を行います。第1次合格発表および面接試験については、試験当日に試験教室で指示します。
- ※6 現代福祉学部2年次の転籍・転部・転科志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表および面接試験については、試験当日に試験教室で指示します。
- ※7 経営学部2・3年次の転籍・転部・転科志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表は、試験当日14時30分から（時間は変更する場合があります）試験教室で行います。
- ※8 スポーツ健康学部2・3年次の転籍・転部志願者については、筆記試験合格者（第1次合格者）のみ面接試験を行います。第1次合格発表および面接試験については、試験当日に試験教室で指示します。

なお、面接時における服装については、軽装や華美でないものを着用してください。ただし、スーツを着用する必要はありません。

■ その他

- ・ 受験票を忘れた場合には、受験票の再発行手続をとってください。
（場所・手続については、当日掲示します）
- ・ 遅刻は第1時限開始後20分まで認めます。ただし、時間に余裕をもって早めに来るようにしてください。なお、試験当日朝、首都圏の主要な公共交通機関に乱れ・遅れが生じた場合は、志願する学部まで連絡してください。（P.15「15 問い合わせ先一覧」参照のこと。なお、試験場が富士見校舎の場合は、当日03-3264-9234または9321までご連絡ください）
- ・ 試験時間内での退室はできません。
- ・ 当日の昼食は各自でご用意ください（学生食堂は休業となります）。
- ・ 面接等で終了時間が未確定です。

13 合格発表

■ 合格発表日 2011年12月15日（木） 午前10時

《注意》合格者には合格発表後、合格書類を速達で郵送します。

合格発表（可否）についての電話・電報・手紙による問い合わせには、一切応じませんので、ご了承ください。

合格発表について

合格発表は、合格者へ合格通知書および入学手続書類を送付いたします。また補助的な手段としてパソコン・携帯電話により可否結果を自動応答する可否案内を行います。尚、不合格通知の送付は行いません。

(1) インターネット（携帯電話・パソコン）による照会

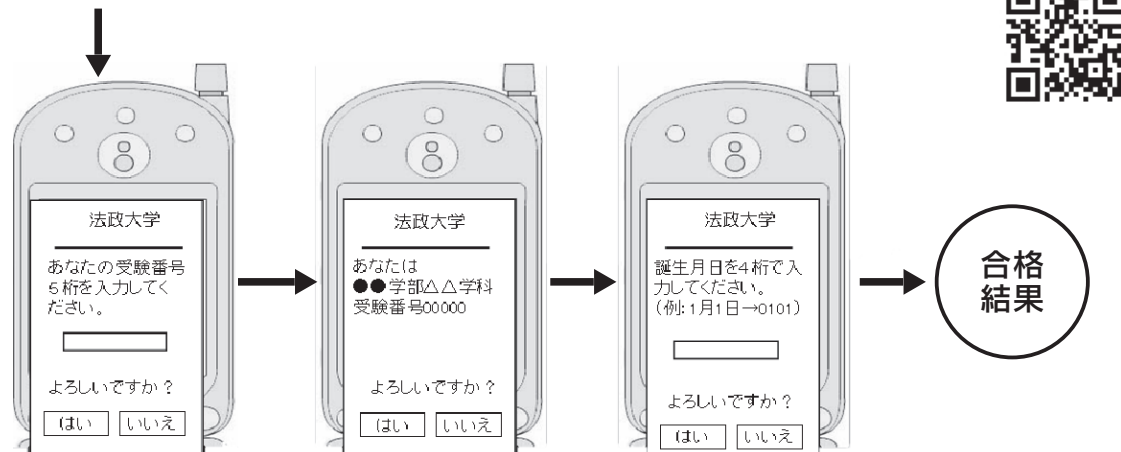
- ① 携帯電話（i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）・パソコンをご利用ください。
- ② 携帯電話での照会は「受験番号」と「誕生日（0を含む4桁；1月1日なら0101）」を使用します。

(2) 利用上の注意事項

- ① 操作方法や受験した学科、受験番号等のお問合せにはお答えできませんので、「受験票」を合格発表日まで保管してください。
また、可否に関する本学への電話等でのお問合せも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「見間違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 可否照会システムの利用可能時間は合格発表日当日午前10時より8日間です。（12/15～12/23の23時59分まで）

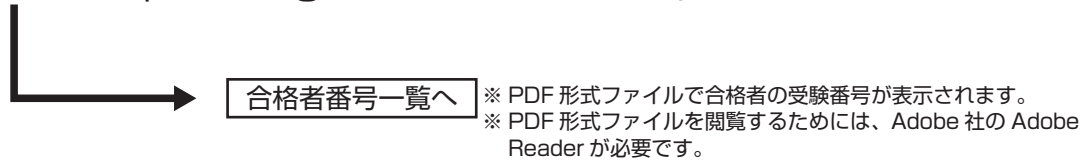
携帯電話 web による合否確認方法

携帯電話 (i-mode・Ezweb・Yahoo! ケータイ) による合否照会 (画面操作手順)
 アドレス <http://www.gouhi.com/hosei/h/>



インターネット (パソコン) による合否確認方法

パソコン画面例
 アドレス <http://www.gouhi.com/hosei/h/> (直接 URL を入力してください)



合格者番号一覧イメージ

○年次合格者番号表

法律学科 (合格者○名)

○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○
○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	以上

※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

●合格書類内容 (入学許可通知書・学費振込依頼書・今後の日程について)

●各校舎所在地 (巻末の案内図を参照のこと)

富士見校舎 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

多摩校舎 〒194-0298 東京都町田市相原町4-3-42

※市ヶ谷地区 (デザイン工学部以外) は 12月25日 (日) ~ 1月9日 (月・祝) まで、多摩地区は 12月24日 (土) ~ 1月9日 (月・祝) まで冬季休業のため、窓口業務は行いません。

14 学費納入

■ 手続期間 2012年3月5日 (月) ~ 3月22日 (木) (期間厳守)

《注意》

1. 上記手続期間内に所定の入学金および学費を納入してください。
2. 上記1の入学手続を期間内にとらない場合は、理由のいかんにかかわらず、転籍・転部・転科の許可を取り消します。

■ 転籍・転部・転科に必要な学費（初年度）

項目	学部	法・文（右記以外）・ 経営・人間環境・経 済・社会・現代福 祉学部（右記以外）	文学部地理学科	文学部心理学科	現代福祉学部 臨床心理学科	キャリアデザイン学部	スポーツ健康学部
入学金		102,000円※1	102,000円※1	102,000円※1	102,000円※1	102,000円※1	102,000円※1
授業料（年額）		755,000円	755,000円	755,000円	755,000円	755,000円	806,000円
実験実習料（年額）		—	22,000円	42,000円	42,000円	21,000円	100,000円
教育充実費（年額）		228,000円	228,000円	228,000円	228,000円	228,000円	278,000円
初年度合計（※1参照）		1,085,000円	1,107,000円	1,127,000円	1,127,000円	1,106,000円	1,286,000円
入学手続時の納入金（※1参照） （入学金以外は第1期分）		593,500円	604,500円	614,500円	614,500円	604,000円	694,000円
入学後納入金 （第2期分）		491,500円	502,500円	512,500円	512,500円	502,000円	592,000円
備考	※1 通信教育課程からの転籍者の入学金は、270,000円になります。						

《注意》

- 転部・転科者は、入学金は必要ありません。
- 法学部国際政治学科は2年次のみ募集です。
- 現代福祉学部は2年次のみ募集です。
- 上記学費の他に毎年諸会費約15,000円～20,000円が必要となります（スポーツ健康学部は別途約38,000円が必要）。
- 授業料・教育充実費・実験実習料は入学手続時に年額のうち、第1期分（半額）を納入することになります。
- 翌年度以降は授業料・教育充実費・実験実習料（文学部地理学科・心理学科、現代福祉学部臨床心理学科、キャリアデザイン学部、スポーツ健康学部のみ）および諸会費の合計額となります。ただし、これらの学費のうち授業料については漸増方式を採用しています。
- 過去に留級した場合または留級して転籍・転部・転科する場合は、入学年度の学費が適用され、上記とは異なりますので、詳細は経理部まで問い合わせてください。
- 2010年度以降に入学された方が転籍・転部・転科される場合、学費および諸会費の他に、4年次に校友（卒業生）組織の会費として30,000円が必要となります。なお、通信教育課程から転籍・転部・転科される場合は、入学年度にかかわらず、4年次に校友（卒業生）組織の会費として30,000円が必要となります。

☒ 問い合わせ先一覧

学年	学部	電話番号	取り扱い時間
2年次	現代福祉学部	042 - 783 - 2806 ~ 7	平日 9:00 ~ 17:00 (11:30 ~ 12:30 を除く) 土曜日 9:00 ~ 12:00
2・3年次	法学部	03 - 3264 - 9322 ~ 3	
	文学部	03 - 3264 - 9324 ~ 5	
	経営学部	03 - 3264 - 9331 ~ 2	
	経済学部	042 - 783 - 2501 ~ 3	
	社会学部	042 - 783 - 2351 ~ 4	
	スポーツ健康学部	042 - 783 - 2121	
	キャリアデザイン学部	03 - 3264 - 9341	平日 9:00 ~ 19:00 (11:30 ~ 12:30 を除く) 土曜日 9:00 ~ 12:00
3年次	人間環境学部	03 - 3264 - 9327	平日 9:00 ~ 17:00 (11:30 ~ 12:30 を除く)
学費および諸会費	経理部	03 - 3264 - 9270	平日 9:00 ~ 17:00 (11:30 ~ 12:30 を除く)

- 夏季休暇期間中の土曜日、および一斉休暇（8月13日～8月19日）は、業務を行いませんのでご注意ください。
- 夏季休暇期間中の平日の窓口取り扱い時間は16:00までとなります。

各キャンパス夏季休暇期間

- 市ヶ谷 ▶ 8月6日（土）～9月15日（木）
- 多摩 ▶ 8月6日（土）～9月20日（火）